



新品種のルーツはこれぞ黒葡萄

井口夏子

最近、葡萄の新品種が続々と登場している。緑色、深い紫黒色、明るい赤系統の品種も。これらのルーツである黒葡萄を感動的に眺めている。



体重計絵踏のごとくそつと乗り

北熊紀生

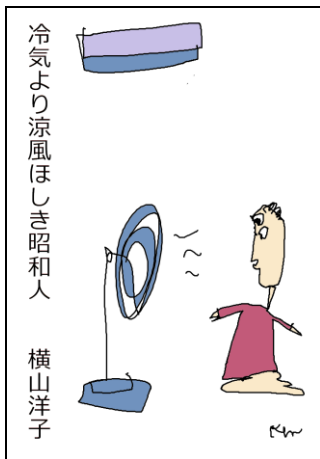
体重計に乗る時、それは真実と向き合う時である。体重計は一切、忖度も無く、事務的に数字で知らせてくる。恐る恐るの気分が表現された。



息すれば肺が灼けつく酷暑かな

伊藤浩睦

肺が灼けつくとはよく言ったもんだ。炎天下の空気は熱くて息ができない。この最近の暑さは、まさにこの通り。決して大袈裟でも誇張でもない。



冷氣より涼風ほしき昭和人

横山洋子

言葉遣いの名人である。冷氣と涼風の違いを明確に述べている。冷氣はエアコンによって作り出される人工物で、涼風は自然が作る天然物である。



台風来両手に土産の雨さげて

吉川正紀子

作者にとって台風は有難くないお客さん。手土産に雨と風を持って来る。台風を擬人化した句はいろいろあるが、この発想は誰もしていないね。



振り向けば男も日傘笑み返す

久松久子

日傘の人を追い越した。今の日傘は男性だったかそれとも…、と気になって振り向いた。男性だった。目が合って、ニッコリ。小さなドラマがある。